

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 5 月 23 日(2022.5.23)

【公開番号】特開 2021-192685(P2021-192685A)

【公開日】令和 3 年 12 月 23 日(2021.12.23)

【年通号数】公開・登録公報 2021-062

【出願番号】特願 2020-99095(P2020-99095)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 5 月 12 日(2022.5.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者による操作対象とされる特定操作手段と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与する特典付与手段と、

前記特定操作手段に対しての操作受付が許容される受付許容状態において前記操作受付がなされると、該操作受付がなされたことに応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段と

を備え、

30

前記受付許容状態においては周期的変化が現れうる画像表示である受付状態関連周期性表示が表示可能とされる遊技機であって、

前記受付許容状態として、

前記受付状態関連周期性表示として特定第 1 周期性表示及び特定第 2 周期性表示が表示される特定の受付許容状態、及び

前記受付状態関連周期性表示として特別第 1 周期性表示及び特別第 2 周期性表示が表示される特別の受付許容状態

が用意されており、

前記特定の受付許容状態では、前記特定操作手段を操作した状態に維持し続けると前記操作受付が特定時間毎になされうようになり、

40

前記特別の受付許容状態では、前記特定操作手段を操作した状態に維持し続けても前記操作受付が前記特定時間毎になされないようになり、

前記特定の受付許容状態が発生する場合、前記特定第 1 周期性表示が表示されるタイミングと、前記特定第 2 周期性表示が表示されるタイミングとは互いに異なるが、前記特定第 1 周期性表示及び前記特定第 2 周期性表示は同じタイミングで非表示にされうようになり、

前記特別の受付許容状態が発生する場合、前記特別第 1 周期性表示が表示されるタイミングと、前記特別第 2 周期性表示が表示されるタイミングとが互いに同じにされており、

さらに、

前記特別の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記発生条

50

件が満たされて発生する場合と、特定種別の演出音が非可聴状態にされているなかで前記発生条件が満たされて発生する場合との両方があり、

前記特定の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生条件が満たされて発生する場合と、特定種別の演出音が非可聴状態にされているなかで発生条件が満たされて発生する場合との両方はないようになっており、

さらに、

前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記特別の受付許容状態が発生した場合であっても、前記特定種別の演出音は、該特別の受付許容状態が継続しているなかで非可聴状態にされうる

ことを特徴とする遊技機。

10

【請求項 2】

遊技者による操作対象とされる操作手段と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

前記操作手段に対しての操作受付が許容される受付許容状態において前記操作受付がなされると、該操作受付がなされたことに応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手段と

を備え、

前記受付許容状態においては周期的変化が現れうる画像表示である受付状態関連周期性表示が表示可能とされる遊技機であって、

20

前記受付許容状態として、

前記受付状態関連周期性表示として特定第 1 周期性表示及び特定第 2 周期性表示が表示される特定の受付許容状態、及び

前記受付状態関連周期性表示として特別第 1 周期性表示及び特別第 2 周期性表示が表示される特別の受付許容状態

が用意されており、

前記特定の受付許容状態では、前記操作受付が複数回許容されている状態にある操作手段を操作した状態に維持し続けると前記操作受付が特定時間毎になされうようになっており、

30

前記特別の受付許容状態では、前記操作受付が複数回許容されている状態にある操作手段を操作した状態に維持し続けても前記操作受付が特定時間毎になされることはないようになっており、

前記特定の受付許容状態が発生する場合、前記特定第 1 周期性表示が表示されるタイミングと、前記特定第 2 周期性表示が表示されるタイミングとは互いに異なるが、前記特定第 1 周期性表示及び前記特定第 2 周期性表示は同じタイミングで非表示にされうようになっており、

前記特別の受付許容状態が発生する場合、前記特別第 1 周期性表示が表示されるタイミングと、前記特別第 2 周期性表示が表示されるタイミングとが互いに同じにされており、

さらに、

40

前記特別の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記発生条件が満たされて発生する場合と、特定種別の演出音が非可聴状態にされているなかで前記発生条件が満たされて発生する場合との両方があり、

前記特定の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生条件が満たされて発生する場合と、特定種別の演出音が非可聴状態にされているなかで発生条件が満たされて発生する場合との両方はないようになっており、

さらに、

前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記特別の受付許容状態が発生した場合であっても、前記特定種別の演出音は、該特別の受付許容状態が継続しているなかで非可聴状態にされうる

50

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

このような従来の遊技機では、遊技興趣の低下が懸念される。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0007

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0007】

手段 1：遊技者による操作対象とされる特定操作手段と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与し
うる特典付与手段と、

前記特定操作手段に対しての操作受付が許容される受付許容状態において前記操作受付が
なされると、該操作受付がなされたことに応じた受付後変化を実行可能な受付状態実行手
段と

を備え、

前記受付許容状態においては周期的変化が現れうる画像表示である受付状態関連周期性表
示が表示可能とされる遊技機であって、

前記受付許容状態として、

前記受付状態関連周期性表示として特定第 1 周期性表示及び特定第 2 周期性表示が表示
される特定の受付許容状態、及び

前記受付状態関連周期性表示として特別第 1 周期性表示及び特別第 2 周期性表示が表示
される特別の受付許容状態

が用意されており、

前記特定の受付許容状態では、前記特定操作手段を操作した状態に維持し続けると前記
操作受付が特定時間毎になされうようになり、

前記特別の受付許容状態では、前記特定操作手段を操作した状態に維持し続けても前記
操作受付が前記特定時間毎になされないようになり、

前記特定の受付許容状態が発生する場合、前記特定第 1 周期性表示が表示されるタイミ
ングと、前記特定第 2 周期性表示が表示されるタイミングとは互いに異なるが、前記特定
第 1 周期性表示及び前記特定第 2 周期性表示は同じタイミングで非表示にされうようにな
っており、

前記特別の受付許容状態が発生する場合、前記特別第 1 周期性表示が表示されるタイミ
ングと、前記特別第 2 周期性表示が表示されるタイミングとが互いに同じにされており、

さらに、

前記特別の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記発生条
件が満たされて発生する場合と、特定種別の演出音が非可聴状態にされているなかで前記
発生条件が満たされて発生する場合との両方があり、

前記特定の受付許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生条件が
満たされて発生する場合と、特定種別の演出音が非可聴状態にされているなかで発生条件
が満たされて発生する場合との両方はないようになり、

さらに、

前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかで前記特別の受付許容状態が発生した
場合であっても、前記特定種別の演出音は、該特別の受付許容状態が継続しているなかで

10

20

30

40

50

非可聴状態にされうる

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】削除

【補正の内容】

【手続補正 5】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】4530

【補正方法】変更

【補正の内容】

【4530】

また、上述した演出例では、全ての受付期間で同じ操作手段（例えば、操作ボタン 410）に対して操作機会を付与することとしたが、受付期間の種別に応じて異なる操作手段に対して操作機会が付与されるようにしてもよい。例えば、第 1 E 受付期間（図 253 など）では、操作ボタン 410 を摸した摸画像表示（ボタン摸画像 B M G）が少なくとも表示されて該操作ボタン 410 に対する操作受付が複数回許容されるのに対し、第 2 E 受付期間（図 258 など）では、刀装飾体 5001 を摸した摸画像表示（刀装飾画像 S Y G）が少なくとも表示されて該 刀装飾体 5001 に対する操作受付が複数回許容されるようにしてもよい。これと同様に、第 3 E 受付期間～第 6 E 受付期間についてもその種別に応じて操作機会が付与される対象がそれぞれ設定されるようにしてもよい。

10

20

30

40

50